

a journal



NAGOYAKINEMA
NEU

ナゴヤキネマ・
ノイ

8²⁰²⁶
月号

〒464-0850

名古屋市中種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F

Tel.052-734-7467

<https://nk-neu.com>

8月の定休日
不定休

8/4・18・
25・9/1

毎月発行

RESERVATION

■各作品の10日前から上映1時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10日前から当日までの窓口受付(座席指定)をご利用ください。

PLATFORM



公式サイト



公式 Facebook



公式 X
@nkn_2024



公式 Instagram
@nkn_2024

上映スケジュール表は2面をご覧ください

ACCESS



ナゴヤキネマ・ノイ

- ▶地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩3分
- ▶今池スタービル2F(契約駐車場なし)

7.11(土)～8.7(金)

ロベール・ブレッソン傑作選 《5作品/入替》



- ①スリ (1959年 76分)
 - ②バルタザールどこへ行く (1966年 96分)
 - ③少女ムシット (1967年 82分)
 - ④白夜 (1971年 83分)
 - ⑤ラルジャン (1983年 85分)
- ※①と⑤は2Kレストア版、
②～④は4Kレストア版です。

7.25(土)～8.7(金)

『聴く隣人のいるところ』

監督: 早川嗣 (2026年 111分)
●舞台挨拶: 7/26(日) 早川監督



7.25(土)～8.7(金)
『わたしの
聖なるインド』

監督: ノウシーン・ハーン (2023年 74分)
●アフタートーク:
7/25(土) 藤本高之さん
(イスラム映画祭主宰)

7.25(土)～8.14(金) ホセ・ルイス・ゲリン監督最新作

- ①よき谷の物語 (2025年 122分) 《2作品/入替》
- ②シルビアのいる街で (2007年 85分) ※8/1(土)～7(金)



8.1(土)～21(金)

『原爆資料館
語り継ぐものたち』

監督: 斉藤俊幸、立川直樹 (2025年 101分)
●舞台挨拶:
8/8(土) 斉藤監督

『心耳(しんじ)
8.8(土)～21(金) 耳を澄ませぬ表現者たち』

監督: 藤井秀剛 (2025年 70分)



8.8(土)～21(金) 『熱狂をこえて』

監督: 松岡弘明 (2026年 105分)



8.15(土)～28(金) 『チャオ・パンタン』4K

監督: クロード・ベリ (1983年 92分)



8.15(土)～28(金) 『ニホンジン』

監督: セリア・カトゥンダ (2025年 84分)



『エレファント6
8.8(土)～21(金) レコーディング・カンパニー』

監督: チャド・ストックフレス (2022年 93分)



8.22(土)～
アフغانستان、これがわたしの声

《2作品/入替》

- ①ハワの手習い (ナジーバ・ヌーリ、ラスール・アリー・ヌーリ 2024年 85分)
- ②撃たれた自由の声を握れ (ザイナブ・エンテザール 2024年 70分)



8.29(土)～『また会えるよね』ギヨーム・ブラック監督特集

《6プロ/入替》

- ①●リンダとイリナ (2023年 38分)
- また会えるよね (2024年 64分)
- ②●遭難者 (2009年 25分)
- 女っ気なし (2011年 58分)
- ③やさしい人 (2013年 100分)
- ④●勇者たちの休息 (2016年 38分)
- 7月の物語 (2017年 71分)
- ⑤宝島 (2018年 97分)
- ⑥みんなのヴァカンス (2020年 100分)

上映作品提供: エタンチェ、ユーロスペース、ポレボレタイムス社、ポレボレ東中野、きろくびと、マーメイドフィルム、コピアボア・フィルム、広島ホームテレビ、POP、社会福祉法人トット基金ろう者劇団、アップリンク、カミハグプロダクション、トーキーマジック、キングレコード、2ミーターテインメント、東風、乗倉、ムヴィオラ

8 月上映スケジュール表

※8/4・18・25・9/1(火)は休館です。

※8/11(火・祝)は開館いたします。

8/1(土)～7(金)

	8/1(土)	2(日)	3(月)	5(水)	6(木)	7(金)
10:30	『原爆資料館 語り継ぐものたち』					
12:30	『聴く隣人のいるところ』					
14:40	『わたしの聖なるインド』					
16:10	『シルビアのいる街で』					
17:50	『よき谷の物語』					
20:10	①スリ	④白夜	⑤ラルジャン	③少女ムシエット	②パルタザール	⑤ラルジャン

8/8(土)～14(金)

	8/8(土)	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)
11:00	『心耳(しんじ) 耳を澄まさぬ表現者たち』						
12:40	『原爆資料館 語り継ぐものたち』						
14:50	『熱狂をこえて』						
17:10	『よき谷の物語』						
19:30	『エレファント6 レコーディング・カンパニー』						

8/15(土)～21(金)

	8/15(土)	16(日)	17(月)	19(水)	20(木)	21(金)
10:30	『心耳(しんじ) 耳を澄まさぬ表現者たち』					
12:00	『熱狂をこえて』					
14:00	『チャオ・パンタン』4K					
15:50	『ニホンジン』					
17:30	『原爆資料館 語り継ぐものたち』					
19:30	『エレファント6 レコーディング・カンパニー』					

8/22(土)～28(金)

	8/22(土)	23(日)	24(月)	26(水)	27(木)	28(金)
10:30	①『ハワの手習い』					
12:10	②『撃たれた自由の声を撮れ』					
13:40	『ニホンジン』					
15:20	『君の見る世界をなぞる』					
17:20	『美しく、黙りなさい』					
19:30	『チャオ・パンタン』4K					

8/29(土)～9/4(金)

	8/29(土)	30(日)	31(月)	9/2(水)	3(木)	4(金)
11:00	①ハワの手習い	②撃たれた自由の声を	①ハワの手習い	②撃たれた自由の声を	①ハワの手習い	②撃たれた自由の声を
12:40	『美しく、黙りなさい』					
14:50	『君の見る世界をなぞる』					
16:50	①『また会えるよね』『リンダとイリナ』(2本立)					
18:50	⑥みんなのヴァカンス	⑤宝島	④7月の物語 ほか	③やさしい人	②女っ気なし ほか	⑥みんなのヴァカンス

ご入場料金・入替制

一般 1800 円 大学生・会員 1400 円 高校生以下 1000 円 シニア(60 歳以上)1300 円
障がい者・会員(シニア・学生)1100 円 ペア割(2 名)2800 円
○会員サービスディ:木曜日 会員・障がい者 1000 円・会員 1 名とのペア(2 名)2000 円
○ファーストディ 一般 1200 円 会員・障がい者 1000 円
〈ギョーム・ブラック監督特集〉
※①は上記通常料金です。
※②～⑥は以下の料金です。
一般 1500 円 シニア・大学生・会員・ペア 1300 円 シニア&学生会員・障がい者 1100 円 高校生以下 1000 円
※木曜は、会員・障がい者 1000 円。

会員募集

お申込日から 1 年有効で 2000 円。
会員特典は当日ご料金の引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

ロベール・ブレッソン傑作選 5 作品 / 入替

素っ気なく研ぎ澄んだ表現形式を選び、ギョーム・ブラック、カウリスマキ、タルコフスキー、ノーランといった巨匠を魅了するロベール・ブレッソン(1901～1999)の作品を新たな字幕とレストアを施した新版で上映。ドストエフスキー『罪と罰』をもとに描き最小限のカメラワークと緊密な編集による美が今も絶賛される『スリ』(76 分)。小さなロバを慈しんだ少女自身に待ち受ける苦難を綴る傑作『パルタザールどこへ行く』(96 分)。貧しい家庭の少女が精一杯の抵抗で運命に向かっていく『少女ムシエット』(82 分)、ドストエフスキーの小説舞台を 70 年代のバリに移し、セーン河畔の美を永遠に刻む『白夜』(83 分)。パスカルが肖像が印刷された一枚の偽札から雪崩のように悪が突き進む、遺作にして最高傑作『ラルジャン』(85 分)

『聴く隣人のいるところ』

島根県にある、日本で一番小規模な全寮制の愛真高校。生徒の自主性を重んじる校風は、キリスト教の建学の精神に基づく。OB でもある早川副監督は、後輩たちの日常を丁寧に捉えようと試みている。各学年 10 数名、総勢 40 人に満たない生徒たちの寮生活は携帯電話の所持も許されず、現代社会から隔絶されているかもしれないが、共同生活の基盤からひとつずつ話し合っ解決する姿勢には感心するばかりだし、彼らの意見を尊重し、支えようとする教員の真摯な姿勢からは学ぶべきことが多い。昨年亡くなった本橋成一(写真家・映画監督)最後のプロデュース作品。(111 分) 昨年亡くなった本橋成一(写真家・映画監督)最後のプロデュース作品。(111 分)

『わたしの聖なるインド』

2019 年インド。台頭するヒンドゥー至上主義に脅かされたデリー南部のイスラム教徒居住区のシャヒーン・パークで大規模な座り込みによる道路占拠が始まった。中心になったのはムスリムの女性たち。100 日以上も幹線道路を封鎖した非暴力で平和的な活動はインド全土に広がったが、地方選挙を機に状況は悪化、警察による弾圧が始まる。山形国際ドキュメンタリー映画祭で市民賞(観客賞)受賞の話題作がいよいよ公開。(74 分)

ホセ・ルイス・ゲリン監督

最新作『よき谷の物語』/ 『シルビアのいる街で』 2 作品 / 入替

ホセ・ルイス・ゲリン監督最新作は、バルセロナ郊外のバルボナ地区（直訳すると、よき谷）に住む人々に「映画を作るなら？」と問いかけたインタビューを通して、街の成立ちから現実的な 数多の問題を紐解いていく不思議な構成のドキュメンタリー作品。一見朗らかな暮らしとして重奏される人々の物語は、いつしか現在進行形の鉄道拡張に伴う立ち退きや工事期間の不自由さに変奏され、美しい自然環境に囲まれた景観が永続するものではないことに直面する。ペドロ・コスタとは全く異なるスタイルと手法で、ゲリンもまた、世界の片隅から現在の世界を見つめる（122分）。アルザスの街ストラスブルで見かけたシルビアに魅せられた「私」。視覚が、聴覚が彼女の風景を捉えていく・・・傑作『**シルビアのいる街で**』をリヴァイバル公開（85分）。

『原爆資料館 語り継ぐものたち』

世界で初めて原子爆弾の脅威に晒された広島。原爆投下後の筆舌に尽くし難い惨状の記憶を遺す施設として原爆資料館（広島平和記念資料館）は開館以来、長く注目を集めてきた。市民から提供された膨大な被害資料は、密やかかつ雄弁に痛みや苦しみを伝える。本作は、広島ホームテレビが地元テレビ局の特色を生かして、歴代館長などの関係者の豊富な証言映像を中心に、施設の沿革をたどる。1945年 8月6日から、まもなく 81 年が経とうとしている今、平和への絶えることのない祈りが胸を打つ。（101 分）

『心耳（しんじ）耳を澄まさぬ表現者たち』

（日本ろう者劇団）は俳優黒柳徹子の発案で手話狂言に取り組み 40 年を経た。2024 年のバリ公演『瓜（うり）盗人』を軸に、劇団を立ち上げた井崎哲也はじめ、手話教育でも活躍する江副悟史らの団員指導にあたる和泉流三宅右近、近成の稽古が「狂言」の真髄にも触れるようなドキュメントを成し、表現文化の底知れぬ豊かさが記録されている。（70 分）

『熱狂をこえて』

ゲイの人権活動家として駆け、雑誌「アドン」編集者、日本初のプライドパレード「東京レズビアン&ゲイ・パレード」の主催者・南定四郎（1931 ～）の怒涛の人生をたどる。多様性にとどまらず昭和平成の日本社会との「闘争」を描き出し、民主主義運動と個の関係性についてもう真摯に問いかける傑作ドキュメンタリー映画。（105 分）

『エレファント 6 レコーディング・カンパニー』

80 年代後半、高校の仲間ビル・ドス、ウィル・カレン・ハート、ジェフ・マンガム、ロバート・シュナイダーらが自宅で手当たり次第の楽器や機材で試みた「実験」から始まったカンパニー「エレファント6」。サイケデリックに影響され、米国の小さな大学都市を移り住み実験とコレクティブを重ねるなかから、数多くのバンドが派生した。90 年代に欠かせない音楽シーンのムーブメント、定義不能・神秘のヒストリーを綴る必見のドキュメンタリー。（93 分）

チャオ・パンタン 4K

パリ 18 区、夜。しがない中年男ランベール（フランスの国民的人気コメディアンだったコリュシオン）と麻薬売買で小銭を稼ぐ若者ペンサン（リシャル・アンコンナ）の魂が、一瞬、触れ合う。それは過去と決別したはずのランベールの人生の揺り戻しか、あるいは 21 世紀のランビュール（郊外）映画の暗い夜明けなのか。クロード・ベリ監督の冷徹なタッチ、ブリュノ・ニュイッテンのソリッドな撮影。そして、アレクサンドル・トロネールの重厚な美術。80 年代半ばのミニシアターでスマッシュヒットになったフレンチパノールの傑作が、蘇る。（92 分）

ニホンジン

日本からブラジルへの入植移民が始まって 130 年。過酷な労働に耐え、その地に暮らしを築き、世代は紡がれてきた。本作は、日系移民 3 世の少年ノボルの視点で、祖父ヒデオから長い歴史を教わる長編アニメーション。頑迷なヒデオは孫に語りかけるうちに、疎遠になってしまった息子との関係を見つめ直すことになるが…。ブラジル出版界の最高権威である「ジャプチ賞」を 2012 年に受賞したオスカル・ナカゾトの小説を、セリア・カトゥンダ監督が朗らかな作風のアニメーションで、日系移民が痛みと共に時代の扉を開いてきた歴史を物語に昇華した。（84 分）

『ハワの手習い』

『撃たれた自由の声を握れ』 2 作品 / 入替

2021 年のアフガニスタンからの米軍撤退後、タリバン勢力拡大に伴って、何が起きていったのかをアフガニスタン現地の視点から描く秀作ドキュメンタリー 2 作品を連続上映。『ハワの手習い』は、高齢の夫に代わり、商才を生かして家族を支えるために困難をのりこえようとする母親ハワの姿を娘からの視点で描く。（85 分）『撃たれた自由の声を握れ』は、タリバンの統制が進む中、女性の権利の確保を訴えるデモを続ける女性たちの苦難の日々を描く。危険を承知の上で行動する勇気、記録する勇気に敬服する。（70 分）

『君の見る世界をなぞる』

『BPM ビート・パー・ミニット』でカンヌ国際映画祭グランプリ受賞のロバン・カンビヨ監督が急逝した盟友ローラン・カンテ（『パリ 20 区、僕たちのクラス』）の暖めていた企画を完成させた作品。陽光鮮やかな南フランスで恵まれた環境に育ちながら家庭にも学校にも居場所を見出せず建築現場で働く 16 歳のエンゾ。小さなその世界を、戦争の渦中のウクライ

next arts 通信

岐阜市平和資料室

JR 岐阜駅高架下の東、ハートフルスクエアー G 2 階の奥まった一画に、岐阜市平和資料室がある。1945（昭和 20）年 7 月 9 日の「岐阜空襲」では、旧市街地の約 80％が焼失、約 900 人の市民が犠牲になった。この資料室には平和の折り鶴、焼夷弾の実物と模型、写真パネルや戦災遺物などが展示されている。2002 年に市の生涯学習拠点施設の中に開室されて以来、いつもひっそりしている。

岐阜空襲の悲劇を伝え、平和の尊さを考えること。資料をただ展示するだけでは、記憶の風化は避けられない。こうしたなかで、「伝える」ことに真摯に取り組む「岐阜空襲を記録する会」の活動を知った。昨年、市は岐阜空襲の概要や体験談をまとめた「岐阜空襲 80 年平和動画」を制作。7 月に、ぎふメディアコスモスで「子どもたちに伝える平和のための資料展」や「戦争体験と平和の詩朗読会」が市主催で実施され、その企画・制作を記録する会が担っていた。

切実に平和が希求される現代においてこそ、資料室の存在や市民の活動をどう活かしていくべきか。なおハートフルスクエアー G をぎふメディアコスモスの分館と位置付けてリニューアルする計画が進んでいる。新たな施設のあり方に期待したい。

【トト】

ナニやってんだか！（15）

6 月 25 日に中部電力の株主総会にもの言う株主として参加したけど、ナニやってんだか！

そもそも、中部電力は浜岡原発の地震動データの改ざんかつねつ造の発覚前にも、津波に備えるための防波壁工事で不正契約をしています。工事代金を書面での確認を取らずに、どうやら口約束だけだったから、未払いのまになっています。

そして、その前にはカルテル事件。これは関西電力と電気料金の値下げ競争をしないようにと合意していました。ところが、関西電力は公正取引委員会の立ち入り検査前に「やりました」と自己申告したので、課徴金はゼロ、「やってない」と裁判に持ち込んだ中部電力は 275 億円の課徴金。

さらにその前からやっていたのは、法廷での無断録音。裁判の録音はできないのに、2004 年から録音していた！当然スマホは無いから、でかい録音機を持ち込んでいたってこと？びっくりだね！

こんなトンデモ事態の責任者は社長の林氏と会長の勝野氏にあるので、株主総会では解任の株主提案がされていて、その投票結果は林氏の再任に賛成 61.1％、勝野氏再任の賛成は 56.3％。でもここで重要なのは、事前の郵送とインターネットで投票はされるのですが、中電に限らず株式が公開されている会社では、賛成・反対が記されていない大多数の白票は、賛成になり、株主提案は反対にする、株主提案を不利にするための不公平な処理がされていることです。だから、二人の信任はされてないし、ありえぬー。（しょう）

イナ出身のヴラドが静かに揺るがし、ラストシーンがたまらなく響いていく。母役のエロディ・ブシェーズも好演。（102 分）

『美しく、黙りなさい』

『去年マリエンバートで』『ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル 1080、コメルス河畔通り 23 番地』などでの存在感が印象的なデルフィーン・セリッグが監督した 1976 年のドキュメンタリー作品。J・フォンダ、S・マクレーン、J・ベルト、A・ヴィアゼムスキー、M・シュナイダーら 23 人の女優たちへの監督からの質問はふたつだけ。「もしあなたが男性だったとしても、この職業を選びましたか？」「他の女優と友好的な場面を演じたことがありますか？」。多様な話題に答えがつながっていくが、その多くは半世紀後の世界へも投げ返されていると思うる。（112 分）

『また会えるよね』

ギヨーム・ブラック監督特集

6 プロ / 入替

ロベール・ブレッソンに続く監督特集は、現代フランス映画界の真珠とも呼びたいギヨーム・ブラック。今年も晩夏と共に新作が届きました！最新作『また会えるよね』（64 分）は、傑作『みんなのヴァカンス』（100 分）と同じドローーム県のリセの寄宿生の最後の夏を静と動を操る見事な編集で綴った余韻豊かな傑作です。特集は、ドキュメンタリー形式の『宝島』（97 分）、珠玉の『遭難者』（25 分）『女っ気なし』（58 分）『7 月の物語』（71 分）や俳優ヴァンサン・マケニニュとジャック・ロジェの名俳優ベルナル・メネズ共演の『やさしい人』（100 分）ほか長・中・短編を合わせて一挙公開いたします。

あいまい、まいにち、こんにちは

最近、とてもエネルギッシュなアツいロックミュージカル作品を観た。カーテンコールで主題歌が歌われ、客席は総立ちでステージと一体となって盛り上がる。観終わったあとに清々しい気持ちになれる作品だった。

私は普段、こういう熱量の高い作品に少し苦手意識がある。エネルギッシュな作品を観ると、そのパワーについていけず、どこか一步引いてしまうというか、自分は蚊帳の外にしているような感覚になることがある。しかし、今回はそれを上回る作品のエネルギーでのみ込まれてしまった。

劇団四季の『マンマ・ミーア!』はカーテンコールで観客がペンライトを振り「ダンシング・クイーン」と一緒に踊り盛り上がるのが恒例だ。大学生の頃に友人と観に行った時は、全く予習をせずに行ったため、周りのファンの熱量にまったくついていけず、カーテンコールで戸惑ったことを思い出した。

小劇場演劇では、自由席の場合に予約の数を観て客席数が多すぎないよう調整することがある。ある劇団の制作さんは、席の間隔を広く取りすぎると、シュールな笑いの場面で観客がふと我に返ってしまうので、隣との間隔はなるべく詰めて、客席全体の空気が途切れないようにしたい、と言っていた。

作品の良し悪しとは別に、その場の空気に乗れるかというのは楽しむ上で大切な要素。舞台上の俳優、周囲の観客、劇場という空間、そのすべてがうまく噛み合ったとき、作品体験は何倍にも膨らむ。劇場に足を運んで作品を観る醍醐味なのかもしれない。

(i)

ウニタ書店情報（052-731-1380）

今国会で皇室典範の「改正」がなされようとしている。しかし、皇統を途切れさせないための皇族の確保という技術的問題に終始して、天皇制についての議論はほとんどない。そればかりか、安倍政権から続く憲法改正の動きに対し、前天皇や現天皇が、護憲の立場を表明してきたことに、リベラル派の一部までもが支持するという「ねじれ」現象が起きている。元々は天皇（1 条）を守るための平和主義（9 条）という側面もあったが、逆に 9 条を守るための 1 条となっているのである。こうした現実をどう考えたらよいのだろうか。哲学者の國分功一郎氏は、近著「**天皇への敗北**」で、「日本国憲法をめぐる学問的かつ国民的な努力が、天皇という存在にかなわなかった」と述べ、憲法をいまだ我がものにできていない戦後民主主義の限界を指摘している。

そして、3 0 年前に刊行され、厳しい批判や論争を巻き起こした加藤典洋氏の「敗戦後論」を読み直すことで、そこで何か問われたかを考察している。「敗戦」を「終戦」と言い換え、「占領軍」を「進駐軍」と呼んで、侵略の事実と向き合うことなく、被害者意識を温存したまま、戦後を過ごしてきた「自己欺瞞」を、加藤氏は批判したのだった。ゼロからの出発＝「戦後」という言葉で、「戦前」と切り離し、加害責任に主体的に向き合ってこなかったことが、今日の「ねじれ」を生んでいる。

いなかのじけん

ぶら下がるやつら

車の屋根いっぱい小さなツブツブが。何か木の葉の種でも降り注いでいるのかな、と思っていたら、尺取虫も同じく車の屋根に。こ、これはッ。見上げると木の葉っぱが食い尽くされている。こやつらのウンチャ、ちっこいウンチャッ。

いつ頃からだろう、初夏の風物詩として、いくつもいくつも尺取虫がぶら下がるようになった。大変やっかいなやつらで、いつのまにやら髪とか服にくっついて、家の中にまで連れ込んでしまう。漠然と八重桜の葉っぱ食ってんのかな、と、それは考え違いで、その脇に生えている、ニシギギ科のツリバナを大好物にしていたのだ。はたと思い当たる。ふがふが、ばっこ、ソウイレバ、少し前に蟻がそこしこ翅を休めていた。ユウマダラエダシャクという（ネット調べ）。常緑樹のマサキを幼虫が好んで食べる、とある。ツリバナは落葉樹である。しかし両木ともニシギギ科、その科なればなんでもござれってどこか。特定の天敵はいないみたいで、やりたい放題好き放題、クモ、カマキリ、ハチ頼み、薬剤散布はそいつらも殺してしまうので避けた方がよいとか。

ニシギギ科は小箱のような実をつける愛らしい木なのですが、その実がゆらゆらと食い尽くされた葉っぱの間に揺れているのを見ると、もの悲しい気分になる。

とはいえ、ユウマダラエダシャクが夜明け前、新たな獲物のツリバナの回りで乱舞している姿は見ものではある

**ナゴヤ
キネマ・
ノイ**

NAGOYA
KINEMA
NEU **協力店**

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
〔院内処方 / 保険診療〕

診療時間
午前 10 時～13 時・午後 15 時～20 時
毎週土曜・日曜・祝日休診

地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分

☎052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

BAR
パピリ
(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに

名古屋市中区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)

国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅③出口から徒歩8分

不定休
詳細はツイッター@perkyapat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC

Takuma は
朝までやってる
呑み屋である。

052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
シネマテークより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F

open house
Analog Recordと
Restaurant Bar

052-753-4300
火曜定休 pm6:00～am1:00
シネマテークより東、環状線に
抜けた角、中屋パン地下 1F

**JAZZ
MATILDA**
DRINK & FOOD

●丸栄 入江町通
●かに本家 三蔵通
●プリンセス ガーデンホテル 白川通

JAZZ MATILDA
(ランドビル5F)

●気軽に楽しめる小さなお店です
●お一人様大歓迎 ●日・月曜定休 ●席料¥500
●オーダー¥300～ ●営業時間 19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号ランドビル5F
☎052-263-6272

**パンクをしたら
DAISY**

052-228-0977

急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理
デザイナーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon **VARIÉTÉ**
WEB: http://variete.hp4u.jp

ヘアサロン バリエテ

●営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00

●定休日
月曜・第3月火曜連休

千種区池下1-6-20 ☎751-7774
(千種マンション池下203号) 1Fに「ドゥリエール」のあるビル

bookshop & gallery
ON READING
www.onreading.jp
on_reading

地下鉄東山公園駅2番出口より徒歩1分

感じる、考えるひとのための本屋

おかげさまで19周年 女性専門
からだほぐしと足つば

みずたま

10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅6番出口すぐ
052-781-8239

アリガト

髪切って、漂とする。

〒464-0074
千種区栄三丁目18-23
052-761-7723

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房

ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩5分。古本屋です。

名古屋市中区今池 5-14-3
11:00～18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ
蘭丸

ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もご紹介します。

キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市中区今池3-2-9 マビルディング1階

骨董・古書・美術品
こもれび
鑑定・買取

昭和区板山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リナル

地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産
農業・化学肥料ゼロ栽培

まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / 電話で
tel 052-851-7200

くらしを耕す会 検索

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん
鞠奴パン食堂

●営業日 / 木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鈴の木31-2 田080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法
帰来堂 鍼灸療院

地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30(最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制)kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し
三味線教室
無料体験しませんか
清元美哉廣

090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
板山駅近く

星屑珈琲
群れない魂の止まり木

静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩
本と酒
ANZAI COVER DOCK
安西コブドー

19時～27時
不定休

ダンスとラップ、観念を揺さぶる—生まれ変わる

ダンサー・振付家
島地保武
×
ラッパー
環 ROY

初演10周年記念凱旋公演
ありか

9月19日 | 土 | 14:00 19:00
20日 | 日 | 16:00
愛知県芸術劇場 小ホール

主催・企画・制作・お問合せ 愛知県芸術劇場 TEL:052-211-7552(10:00-18:00)

印刷のことなら何でもご相談ください。

http://mokumoku.asia

名古屋中瑞穂区 tel 052-852-7611

LES FILMS
ESSENTIELS
DE LA
**NOUVELLE
VAGUE**

女は女である (4K 修復版)
女と男のいる舗道 (4K 修復版)
はなればなれに (2K 修復版)
パリとところどころ (2K 修復版)

今秋公開
特別鑑賞券 (4回券)
4000 円 (カード付) 発売中！

ナゴヤキネマ・ノイ
NAGOYAKINEMA NEU

名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集

平野勇治 著
安住恭子 発行

小さな映画館から
1650 円 (税込)

ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋
シマウマ書房の日々

鈴木 創 著

2200 円 (税込)
重紀書房 / 発行

12月9日発売 各書店にて

Free Palestine!

私たちにできること